

2021年度 東京大学 職域・地域架橋型 価値に基づく支援者育成 受講生募集 **12/24締切**

Values-informed service
3つの基本素養を備えた
支援者育成を目指します

1. Trauma-Informed Care
トラウマを熟知して支援できる
2. Co-Production
当事者と共同創造できる
3. Organizational Change
これらの実現のため組織文化を変革



C-1 心理支援職

医療をはじめとする様々な領域で心理支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

看護、精神保健福祉、作業療法、薬剤、栄養、学校教育など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアセスメントにもとづく支援力向上を目指す方等も対象に含みます。

C-2 (地域) 対人支援職

行政、社会福祉、学校教育、NPO法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会的支援の視座を深めたい方等も対象に含みます。

このプログラムは東京大学の履修証明プログラムとして実施され修了者には履修証明書が授与されます

開催場所

東京大学本郷キャンパス・医学部附属病院内会議室

※2020年4月～11月現在は、オンライン講義実施。

新型コロナウイルス感染症感染状況により東京大学の方針に従い、オンライン又は、学内や院内の会議室での開催予定。

事態が終息し全体としては会議室での開催が可能な場合もオンライン参加していただけるように準備中。

受講期間

2021年4月～2022年3月

応募資格

(1)(2)双方を満たす方

(1) 4年制大学卒業業者、または大学卒業業者と同等以上の学力を有すると認められた22歳以上の方

(2) 医療、学校、行政(保健・福祉)などの領域で対人支援職を目指す方。または既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

募集人員

職域架橋型コース (C-1) 20名、地域連携型コース (C-2) 20名

※C-1とC-2の両方のコースの申込みも可能です。

出願期間

2020年12月4日～**12月24日 (必着)**

(随時1次選考・2次選考を実施)

1次選考：書類審査、2次選考：面接

出願先

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学 CRC A棟1F 精神神経科 TICPOC事務局

出願書類

履歴書・エントリーシート・志願理由書・

応募資格を証明する書類等。

詳細は、<https://co-production-training.net/application/> をご覧ください。

選考発表及び受講手続き

令和3年(2021年)1月31日

選考の結果を同日までに郵送又は電子メールにて通知する。

受講を認められた方には関係書類を送付する。

受講料

各コース1年間9万円 (学生は5万円)

※他コースの受講者が本コースの講義を単回受講する場合は、1.5万円/日 (学生は0.8万円/日) の受講料となる。

※両コース併願の場合の受講料金額割引について検討中。

問い合わせ先

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 CRC A棟 1階 TICPOC事務局

TEL:03-3815-5411 (内線36052) E-mail: utokyo.coproductio.training@gmail.com

URL: <https://co-production-training.net/>

2021年度プログラム

9:00-18:00 (12:00-13:00 お昼休憩) ※講師、講義タイトル、内容等は変更となる可能性があります。 ※他、集中実習、外部実習含む

C-1 職域架橋型コース

6/12 ㊥	AM	TICPOC C-1コースの趣旨と概要	TICPOC事務局 笠井清登・濱田純子
	PM	心理臨床実践と研究の倫理	日本大学文理学部心理学科 津川律子 教授
6/13 ㊥	AM	総合病院精神医学と多職種協働	東京大学医学部附属病院 近藤伸介 特任講師・市橋香代 特任講師
	PM	精神疾患と薬理	東京大学医学部附属病院 森田健太郎 助教・里村嘉弘 講師・神出誠一郎 准教授
8/28 ㊥	AM	認知行動療法	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
	PM	力動的視点を非精神的分析的ケア場面に適用する	神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科 若佐美奈子 准教授
8/29 ㊥	AM	スキーマ療法	洗足ストレスコーピング・サポートオフィス 伊藤絵美 所長
	PM	チーム支援を有効にする精神力動的視点	京都大学 松木邦裕 名誉教授
11/20 ㊥	AM	発達障害の臨床	東京大学大学院医学系研究科 金生由紀子 准教授
	PM	発達障害のアセスメント ～WISC-IV, WAIS-IVからADOS-2,ADI-Rまで～	帝京大学文学部心理学科 黒田美保 教授
11/21 ㊥	AM	見えない心を可視化する ～心理アセスメントによるケース理解～	中村心理療法研究室 国際ロールシャッハ学会会長 中村紀子
	PM	精神分析を生きる、そして生かす	上智大学総合人間科学部心理学科 藤山直樹 名誉教授
1/8 ㊥	AM	スクールカウンセリングとソーシャルワーク	東京大学医学部附属病院 笠井清登 教授・ゲスト講師
	PM	心理支援におけるカラー・ジュ療法理論とその実践	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
1/9 ㊥	AM	オンコロジー領域の心理社会支援	国立研究開発法人 国立がん研究センター 藤森麻衣子 室長
	PM	質的研究入門－ナラティブの重要性－	東京大学大学院教育学研究科 能智正博 教授

C-2 地域連携型コース

5/22 ㊥	AM	TICPOC C-2コースの趣旨と概要	TICPOC事務局 笠井清登・熊倉陽介
	PM	当事者研究の歴史と理念 ワークシートを使った当事者研究の体験 自他の身体に関する知識と社会変革 ：当事者研究とソーシャルマジョリティ	東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎 准教授 ダルク女性ハウス 上岡陽江 代表 東京大学先端科学技術研究センター 綾屋紗月 特任講師
5/23 ㊥	AM	中動態の世界－意志と責任の考古学	東京大学総合文化研究科・教養学部 國分功一郎 准教授
	PM	トラウマインフォームドケア	兵庫県こころのケアセンター 亀岡智美 副センター長兼研究部長
7/3 ㊥	AM	地域共生社会におけるメンタルヘルスの戦略	全国精神保健福祉連絡協議会会長・川崎市精神保健福祉センター 竹島正 所長
	PM	地域と共に生きる寺院と「集いの場」	大正大学社会共生学部 高瀬顕功 専任講師
7/4 ㊥	AM	精神保健のOrganizational Changeに向けた 研究の方法論	東京大学医学部附属病院 金原明子 特任助教
	PM	精神障害にも対応した地域包括ケアと意思決定支援 (権利擁護と共同意思決定)	国立精神・神経医療研究センター 山口創生 室長 国立精神・神経医療研究センター 藤井千代 部長
10/2 ㊥	AM	文京区の虐待対策と子ども家庭支援	文京区子ども家庭支援センター 職員
	PM	ピアサポートワーカーとコ・プロダクション	東京大学大学院医学系研究科 宮本有紀 准教授 東京大学医学部附属病院 佐々木理恵 学術支援専門職員
10/3 ㊥	AM	プライマリ・ケアと精神科医療を統合した訪問診療	祐ホームクリニック吾妻橋 夏堀龍暢 院長
	PM	学校メンタルヘルスと若者の自殺対策	NPO 法人Light Ring. 石井綾華 代表理事
12/11 ㊥	AM	医療人類学の基本と最前線	慶應義塾大学文学部・大学院社会学研究科 北中淳子 教授
	PM	東日本大震災におけるメンタルヘルス	岩手医科大学神経精神科学講座 大塚耕太郎 教授
12/12 ㊥	AM	事故・事件の被害者支援	被害者支援都民センター 鶴田信子 心理相談担当責任者
	PM	対人支援サービスの質の評価とPDCAサイクル	東京大学総括プロジェクト機構 「Quality とHealthを基盤におく サービスエクセレンス社会システム工学」総括寄付講座 特任教授 水流聡子 特任教授

C-1・C-2 合同講義

9/11 ㊥	AM	多職種協働における価値と多元主義	京都大学大学院医学系研究科 村井俊哉 教授
	PM	臨床心理学の社会的転回	東京大学医学部附属病院 榊原英輔 助教 十文字学園女子大学人間生活学部人間発達心理学科 東畑開人 准教授
9/12 ㊥	AM	家族が望む精神科医療と地域社会	あおば福祉会 島本禎子 理事長
	PM	22q11.2欠失症候群 －重複する障害を抱えた子どもとその家族の生活	22 HEART CLUB 三ツ井幸子 副代表
2/19 ㊥	AM	精神分析的な心理療法における 「女性であること」とトラウマ	帝京大学心理臨床センター 笠井さつき 教授
	PM	薬物依存症をもつ人を地域で支える	国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦 部長
2/20 ㊥	AM	ヤングケアラー	成蹊大学文学部現代社会学科 澁谷智子 教授
	PM	当事者主権の福祉社会へ	認定NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク 上野千鶴子 理事長